

妊娠初期の赤ちゃんは、ママの健康と栄養状態に最も敏感

赤ちゃんの体は妊娠のごく初期に形作られます。特に妊娠4~7週は、脳、神経、心臓など大部分が作られる時期で、その際にママはベストな栄養状態であることが重要です。

なかでも葉酸は十分量の摂取が必要で、サプリメント等から追加摂取が推奨されています。^{※1}

ホモシステイン(悪玉アミノ酸)を減らすためには葉酸800+を摂ろう

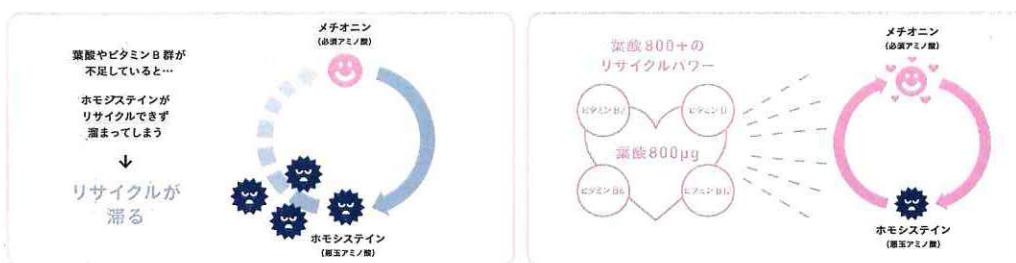
ホモシステインとは、血液中に存在し、体にたまると様々な臓器に悪影響を与えます。妊娠初期にママの体にホモシステインが多いとお腹の赤ちゃんに影響があるといわれています。

悪玉アミノ酸のホモシステインは、タンパク質などに含まれる必須アミノ酸「メチオニン」が体の中で使われる過程でどうしても産生されてしまいます。このとき体内に十分な葉酸やマルチビタミンがないと、メチオニンへのリサイクルができず、ホモシステインがたまってしまいます。ホモシステインを減らすためには、葉酸とビタミンB群が体内で十分に働いていることが重要です。また、日本人の約6割が葉酸をうまく利用できない体质^{※2}のため、より意識的に葉酸を摂る必要があります。

葉酸800μg/日とマルチビタミン摂取により、ホモシステインを下げることがわかっています。^{※3}

※2 MTHFR遺伝子に変異があると葉酸を体の中で使いにくいと言われています。日本人の約6割がこの遺伝子に変異があります。出典:Hirakawa M et al: Biochem Biophys Res Commun 2004; 316(4): 1210-1216.

※3 Kuroda K et al: Nutrients 2021; 13(4):1381-1391.



エレビットは葉酸800μg含め18種類のビタミン・ミネラルを配合のプレナタルマルチビタミンサプリメント

- ✓ 十分な葉酸の量「800 μg / 日」
- ✓ 食事摂取基準^{※4}に基づき、ビタミン・ミネラルをバランスよく配合
- ✓ 臨床試験でホモシステインを下げる効果を確認

※4 右図 厚生労働省、「日本人の食事摂取基準（2020年版）」策定検討会報告書
妊娠初期(30~49歳)における1日の推奨量・目安量

赤ちゃんの体の部分ができる時期(器官形成期)



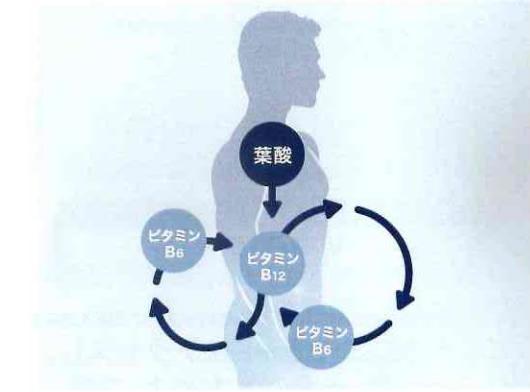
妊娠・授乳とくすり一般社団法人薬の適正使用協議会
平松祐司 アレルギー 63(I) 6-13, 2014. 妊娠とアレルギー疾患 2.妊娠と薬などより作図
※1 厚生労働省:「日本人の食事摂取基準(2020年版)」策定検討会報告書

男女ともに妊活中はライフスタイル改善と栄養補給が大切

男女一緒にできる妊活として体調を整える「コンディショニング」があります。妊活に大切な男性のコンディションを整えるためには、日々のライフスタイルの改善や、栄養補給の見直しが重要です。食事に加えてサプリメントをプラスし、抗酸化作用を持つビタミンEや細胞の代謝をサポートする亜鉛をはじめ、ビタミンやミネラルを積極的に摂りましょう。

メネビットは男性の妊活を支える 男性のコンディショニング・サプリメント

メネビットは、妊活に取り組む男性へ向け、こだわって開発されたサプリメント。男性のコンディションを整えるのに欠かせない、抗酸化作用を持つビタミンE、細胞の代謝をサポートする亜鉛、男性にも必要な葉酸、葉酸の代謝を助けるビタミンB6とB12など、妊活を支える9つの栄養素をバランスよく配合しています。



製薬会社ならではの厳しい基準をクリアしたサプリメント

原材料の調達から品質検査まで、厳しい独自の品質基準を設け生産。製薬メーカーならではの高品質なサプリメントをお届けしています。

すべての原料について
受け入れ試験を行い内容を確認

食品関連法及び
バイエルグローバルガイドラインに
沿った品質を保証

農薬試験、アレルギー試験、
放射能試験を実施、すべてを通過

香料・保存料不使用

